

項目	内容
名称	核酸 (DNA、RNA) [英]Nucleic acid [学名]-
概要	核酸は、DNAやRNAといわれる遺伝情報をもつ高分子であり、細胞増殖や成長に関与する。特に傷口、肝臓切除あるいは免疫系に関する治療中など、体組織が成長しているような状態のもとでは核酸の必要量が高まる。酵母や鮭の白子は核酸を多く含む。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> 「医薬品の効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・プリンまたはピリミジン塩基、ペントース、リン酸から成るヌクレオチドを基本単位とし、リン酸が各ヌクレオチド間でジエステル結合して重合した長い鎖状のポリヌクレオチド。糖部分がリボースかデオキシリボースかによってRNAとDNAの2種類に大別される。
分析法	-
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。	
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。	
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。	
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。	
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。	
免疫・がん・炎症	・早期産児にヌクレオチドを投与すると、IgAおよびIgMレベルが上昇した ( <a href="#">PMID:9225341</a> ) ( <a href="#">PMID:10475592</a> )。	
ヒトでの評価	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	<p><b>RCT</b></p> <p>・日常的に有酸素トレーニングを行っている男性30名 (試験群15名、平均22.6±2.1歳、セルビア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、舌下スプレーを用いヌクレオチド50 mg/日を14日間摂取させたところ、NK細胞の細胞障害活性および血清IgA濃度の上昇、疲労困憊までの走行時間の延長が認められたが、白血球数、NK細胞数、血清IgM濃度、IgG濃度、主観的運動強度、最大心拍数、トレッドミルの走行スピードに影響は認められなかった (<a href="#">PMID:24284618</a>)。</p>

参考文献

- [\(PMID:9225341\) Nutrition 1997 May;13\(5\):465-9.](#)  
[\(PMID:10475592\) Biofactors 1999;10\(1\):67-76.](#)  
[\(PMID:10848920\) Clin Exp Allergy 2000 Jul;30\(7\):979-87.](#)  
[\(PMID:10859467\) Int Arch Allergy Immunol 2000 May;122\(1\):33-41.](#)  
[\(PMID:7539633\) Eur J Surg. 1995 Feb;161\(2\):115-22.](#)  
[\(PMID:11551575\) Lancet. 2001 Sep 1;358\(9283\):696-701.](#)  
[\(PMID:9191659\) J Trauma. 1997 May;42\(5\):793-800; discussion 800-2.](#)  
[\(PMID:7874893\) Crit Care Med. 1995 Mar;23\(3\):436-49.](#)  
[\(PMID:10565405\) Curr Opin Clin Nutr Metab Care. 1998 Nov;1\(6\):527-30.](#)  
[\(PMID:1377838\) Surgery. 1992 Jul;112\(1\):56-67.](#)  
[\(PMID:7536138\) Crit Care Med. 1995 Apr;23\(4\):652-9.](#)  
[\(PMID:24284618\) Nutrients. 2013 Nov 21;5\(11\):4776-85.](#)